

(様式第2号)

事業所名 グループホーム栄寿荘

目標達成計画票(事業所記入)

作成日: 令和 3年 5月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	・現在実施している火災想定避難訓練の見直しが出来ていない。 ・多様な災害に対する防災の研修が出来ていない。	・火災想定避難訓練をこれまでと違った形(時間帯の変更など)で実施して新たな課題を見つける。 ・災害時の役割分担の明確化。 ・風水害、地震等、様々な災害に対して継続的な防災意識を持つ。	・これまでの火災想定避難訓練の振り返りと課題等の抽出。 ・抽出した内容の整理を行い、今後必要と思う訓練の確認、実施方法についての話し合い。 ・風水害、地震等の防災研修実施、マニュアルの見直しなどを行う。	24ヶ月
2	13	・日々の業務をこなすことに精一杯で、業務が恒常化してしまいがち。そこに安心を感じることで、新しい意見や変化が発生することに抵抗が生まれ、業務の改善や効率化に繋がりにくい状況がある。また、そのことが利用者様のヒヤリハットや事故発生の原因になりかねないという課題がある。	・必要な業務の改善、効率化から業務負担の軽減を図る。スタッフの心因的な負担を軽減する。 ・ヒヤリハットや事故発生の予防に繋げる。	・日々行っている業務を可視化して、スタッフの負担となっている業務や時間帯などを整理する。 ・業務が煩雑になったり優先されていることで、利用者様に目が行き届きにくい状況、環境を把握する。	24ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加してください。